

2012年10月7日 「氏族メシヤ」 石川祐司教会長

以下に、本日の訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

礼節と儀式 第4章 祝福家庭の伝統と生活礼節

③祝福家庭は族長

1968年度に430家庭を祝福した時、先生が指示したとおり氏族的メシヤになりなさいというのです。その使命を果たさなければなりません。先生を中心として協会に36家庭が組織されているように、金家ならば金家で、先に祝福を受けた家庭を中心として金家の36家庭型がなければなりません。36家庭にならなければ12家庭型の先祖でもつくらなければなりません。そうして皆さんが、皆さんの氏族の先祖になって新しい支派編成をしなければなりません。それが12支派型なのですが、それを形成したなら、その12支派圏内にすべて入るのです。これが直系の氏族です。(31-277, 1970.6.4)

現在の祝福家庭は、伝統の先祖なので重要です。氏族の前にメシヤ的家庭になってこそ伝統が立てられるのです。(21-86, 1968.11.3)

これからは、祝福家庭を中心として氏族が成されていきます。そうすることによって皆さんは、氏族的メシヤとしての使命を果たさなければなりません。これからの教会は、族長を中心として成されます。祝福を受けた人たちは、すべて族長たちです。(23-63, 1969.5.11)

新しい家庭と氏族の基盤をつくったので、氏族復帰という歴史的な驚くべき恵沢圏内に入ったのです。それで皆さんには父親、母親を伝道することができ、お兄さんやお姉さんを伝道することのできる時が到来したのです。復帰歴史は家庭を探し立てるためのものですが、他の家庭を復帰するよりも自分の血肉を通して復帰したらどんなに早いでしょうか。皆さんが、「父母や兄弟を伝道しなさい」という話を聞くことができるのは、先生1代においては夢のような話です。(御旨と世界-200)

皆さんはその基盤の上で、皆さんの代に氏族的な基盤をもつことができるということです。ですから、どんなに栄光でしょうか。これを知って感謝しなければならないにもかかわらず、その責任に耐えることができなければ、その家庭が責任追及を受けなくて済むのかということです。このような立場で責任も責任ですが、これからはその家庭が氏族的メシヤの使命を果たさなければなりません。

(31-281, 1970.6.4)